

ひかりのこ

10月園便り

聖ミエル幼稚園
2020年9月18日

月主題：楽しむ

「朝の祈り」

8時15分、職員室の朝は、お祈りから始まります。その週子どもたちと歌うことになっている聖歌を一曲みんなで歌って、次に主の祈りを唱えます。

天におられる私たちの父よ
御名が聖とされますように。
御国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
私たちの日ごとの糧を今日もお与えください。
私たちの罪をおゆるしくください。わたしたちもひとをゆるします。
私たちが誘惑におちいらせず、
悪からお救い下さい。
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。

先生たち一人一人が、声を出し、一心に祈ります。
そして次に、その週の担当の先生がお祈りします。

例えば

「天のお父様、今日も新しい朝をありがとうございます。今日は、みんなでお外に出ます。どうぞ怪我をすることなく、楽しい一日になりますように。幼稚園に向かっている子どもたち、お家の方々、バスのお運転手さんなどをどうぞお守りください。世界の苦しんでいる人たちをどうぞお守りください。このお祈りを主イエス様の御名によってお捧げ致します。」など。

私は以前、札幌市立の中学校の教員でした。朝の打ち合わせは必ずありますが、職員が心を合わせて、神様に祈ることは、公立ですからももちろんありませんでした。ですから、このミカエルに赴任した一日目の朝は、感動し、心が震えました。職員が、心一つにして、子どもたちや保護者や世界中の人たちのために祈り、それから一日が始まることのなんと素晴らしいことか。8年経っ

た今もこの豊かな時間に感謝せずにはられません。

子どもたちも主の祈りは、きっと暗記しているはずですが、どうぞ、ご家庭でもお子さんと一緒にお祈りの時間を持ってくださると嬉しいです。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「祝 福」

コロナ禍で幼稚園もいろんなことが変更を余儀なくされています。お誕生会の礼拝も例外ではなく、礼拝堂を使わず、チャプレンと先生が3つのクラスを回って行っています。この礼拝では、以前から、お誕生日を迎える子どもたち、先生たちに前に出てきてもらい、チャプレンである私が子どもたちの頭に手を置いて祝福を祈ります。今は安全のため直接手を置かず、手をかざす形にしています。そしてもう一つの変化は、お母様（時にはお父様）にも一緒に出てきていただき、祝福の祈りを受けていただいています。これは礼拝堂で行っていた時にはなかったことで、コロナのお陰で逆に嬉しい変化が生まれました。

お母様たちの中には、ちょっと戸惑ったような、恥ずかしそうな表情を浮かべる方もおられます。祝福の祈りは、とても短く小さなものです。しかし、その中身はとても大きいのです。祝福とは、「よく頑張ってきたね」、「あなたは今のあなたのままでいい」、「安心して前に進もう」、「私がいつも守っているよ」というメッセージが込められた、神さまの「愛の告白」なのです。自動車は定期点検を受けてリフレッシュして安全に走れるように、私たちもリフレッシュが必要です。何となく先が見えない不安の中にある今だからこそ、私たちにとって大切なお祈りです。

チャプレン 司祭 下澤 昌